



TYO 5290

株式会社ベルテクスコーポレーション

# 2022年3月期 決算説明資料

2022年5月12日

1

2022年3月期通期 決算概要

P.02

2

2023年3月期 業績予想

P.13

3

中期経営計画 進捗状況

P.17

参考資料

P.32

# 1 2022年3月期通期 決算概要

---

2. 2023年3月期 業績予想

3. 中期経営計画 進捗状況

参考資料

# 1-1. 2022年3月期 連結損益計算書

- 売上高は、前期及び期初予想を下回る結果となりましたが、一方、利益率の上昇が特にコンクリートセグメントで顕著であったことから、各段階利益はすべて**大幅増益**となりました。

(単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		前期比		期初予想対比	
	実績	実績	期初予想	実績	(額)	(率)	(額)	(率)
売上高	39,014	37,763	39,000	<b>37,514</b>	△249	△0.7%	△1,486	△3.8%
営業利益	3,788	5,290	5,500	<b>6,143</b>	853	16.1%	643	11.7%
営業利益率	9.7%	14.0%	14.1%	<b>16.4%</b>	—	+2.4pt	—	+2.3pt
経常利益	3,959	5,635	5,700	<b>6,434</b>	799	14.2%	734	12.9%
経常利益率	10.1%	14.9%	14.6%	<b>17.2%</b>	—	+2.3pt	—	+2.6pt
親会社株主に帰属する当期純利益	2,336	3,759	3,800	<b>4,242</b>	483	12.9%	442	11.6%
当期純利益率	6.0%	10.0%	9.7%	<b>11.3%</b>	—	+1.3pt	—	+1.6pt

## ■ セグメント別売上高

(単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		前期比		期初予想対比	
	実績	実績	期初予想	実績	(額)	(率)	(額)	(率)
コンクリート	28,372	28,539	29,200	<b>28,414</b>	△125	△0.4%	△786	△2.7%
パイル	4,520	2,892	3,300	<b>2,343</b>	△549	△19.0%	△957	△29.0%
防災	4,083	4,170	4,300	<b>4,565</b>	395	9.5%	265	6.2%
その他	2,039	2,161	2,200	<b>2,190</b>	29	1.4%	△10	△0.4%

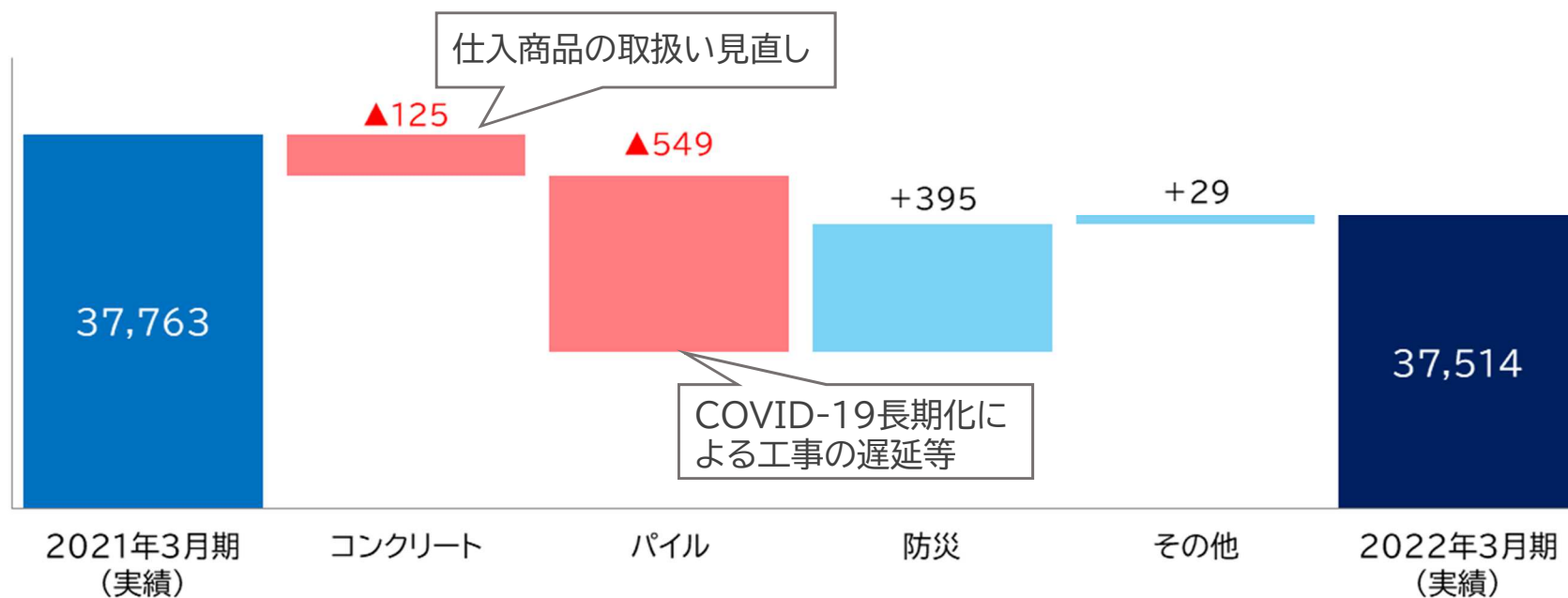
## ■ セグメント別利益

(単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期		前期比		期初予想対比	
	実績	実績	期初予想	実績	(額)	(率)	(額)	(率)
コンクリート	3,602	4,885	5,000	<b>5,549</b>	664	13.6%	549	11.0%
パイル	128	73	130	<b>85</b>	12	15.3%	△45	△34.4%
防災	1,061	1,173	1,230	<b>1,194</b>	21	1.7%	△36	△2.9%
その他	367	458	440	<b>459</b>	1	0.2%	19	4.4%
(調整額)	△1,370	△1,300	△1,300	<b>△1,144</b>	156	△12.0%	156	△12.0%
連結	3,788	5,290	5,500	<b>6,143</b>	853	16.1%	643	11.7%

※1 売上高は外部顧客への売上高の数値を記載しております。  
 ※2 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

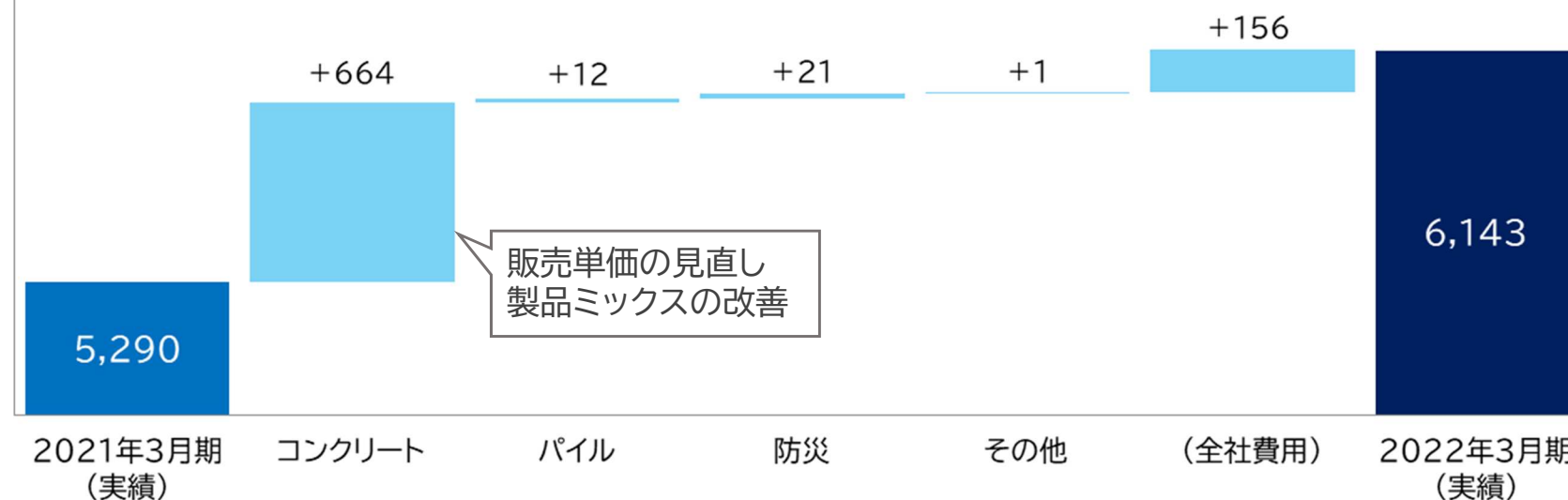
## ■ 売上高

(百万円)



## ■ 営業利益

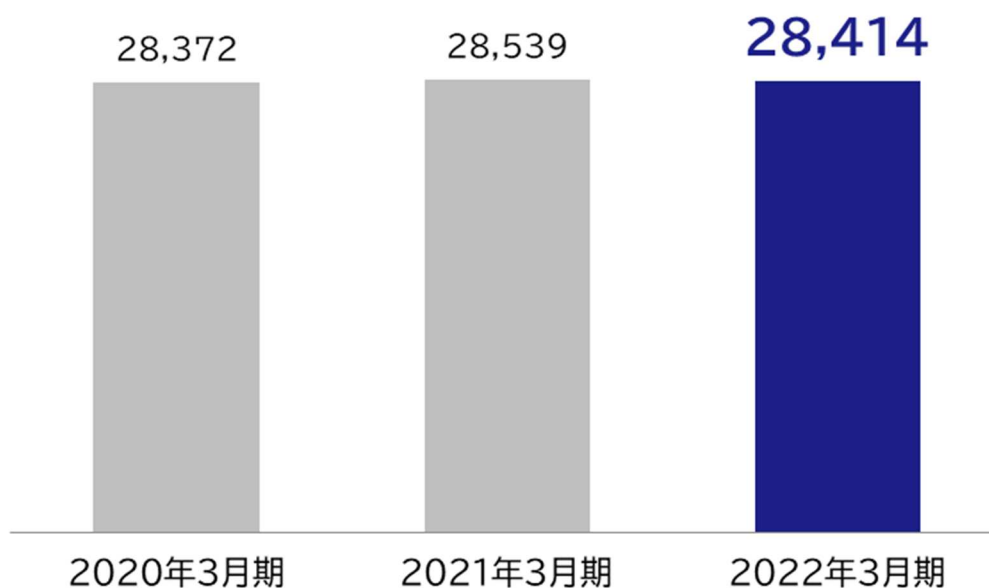
(百万円)



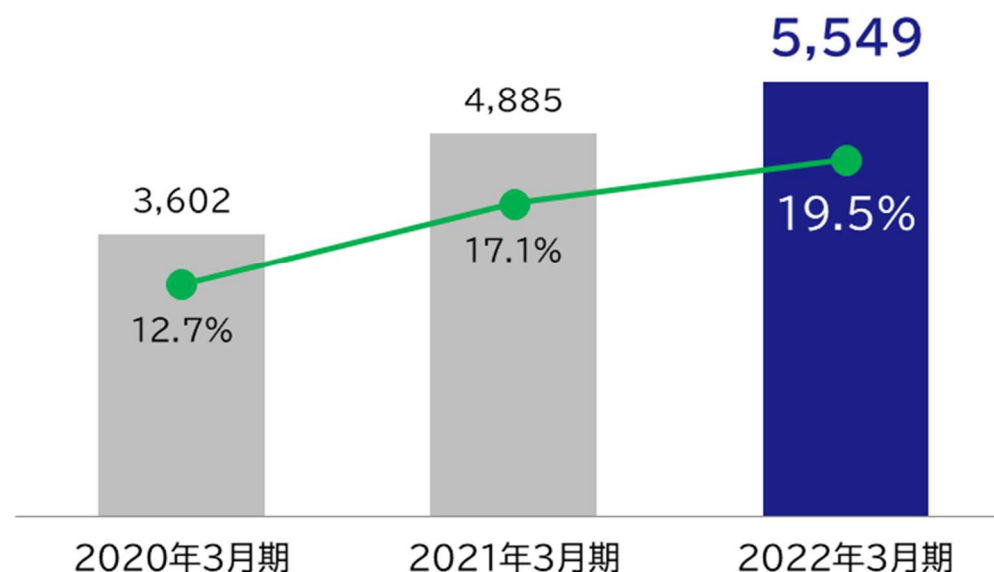
## コンクリート事業

- 戦略的な高付加価値製品へのシフトに伴う製品ミックスの改善と汎用品、仕入れ商品を中心とした取扱い及び販売単価の見直しにより、**前期比増益**を達成しました。

売上高 (百万円)



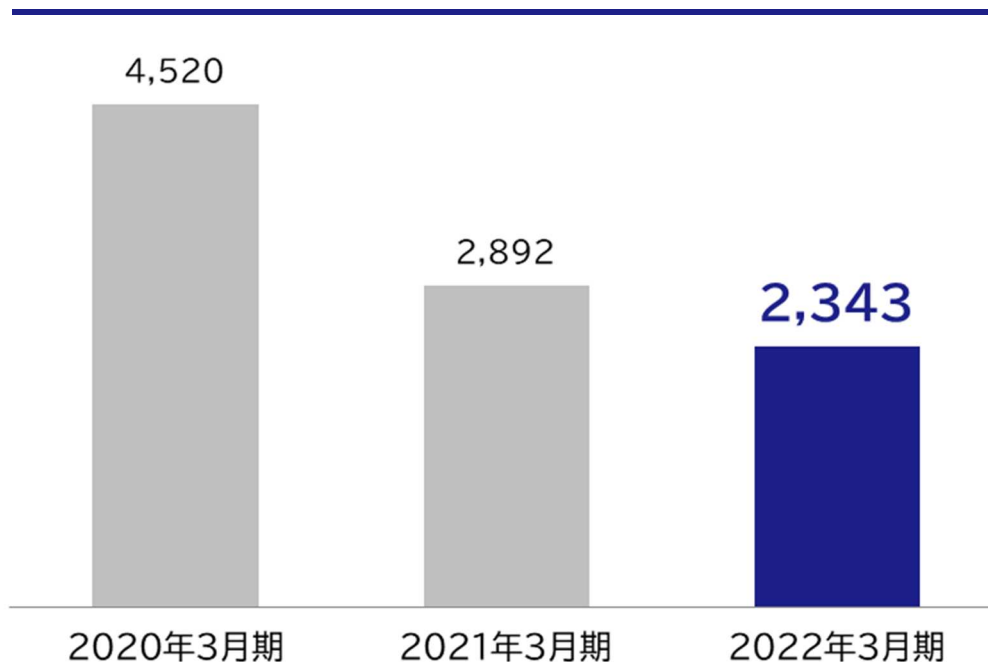
セグメント利益・利益率 (百万円)



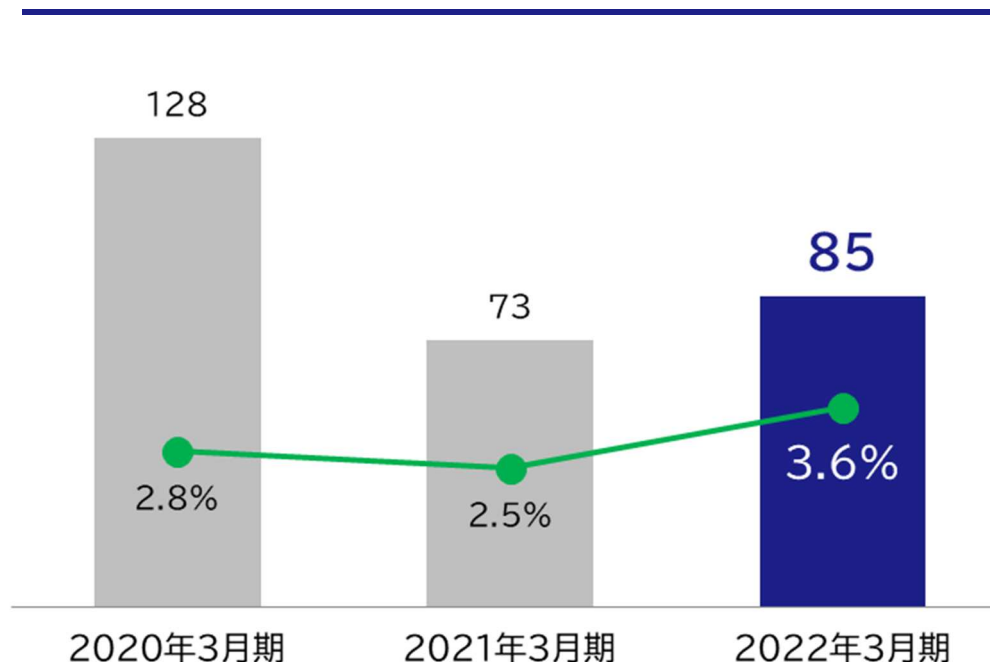
## パイル事業

- COVID-19による民間企業を中心とした設備投資の回復遅れなどにより、売上高は下回る結果となりました。
- 一方、販売単価を意識した選別受注により、**前期比増益**を達成しました。

売上高 (百万円)



セグメント利益・利益率 (百万円)

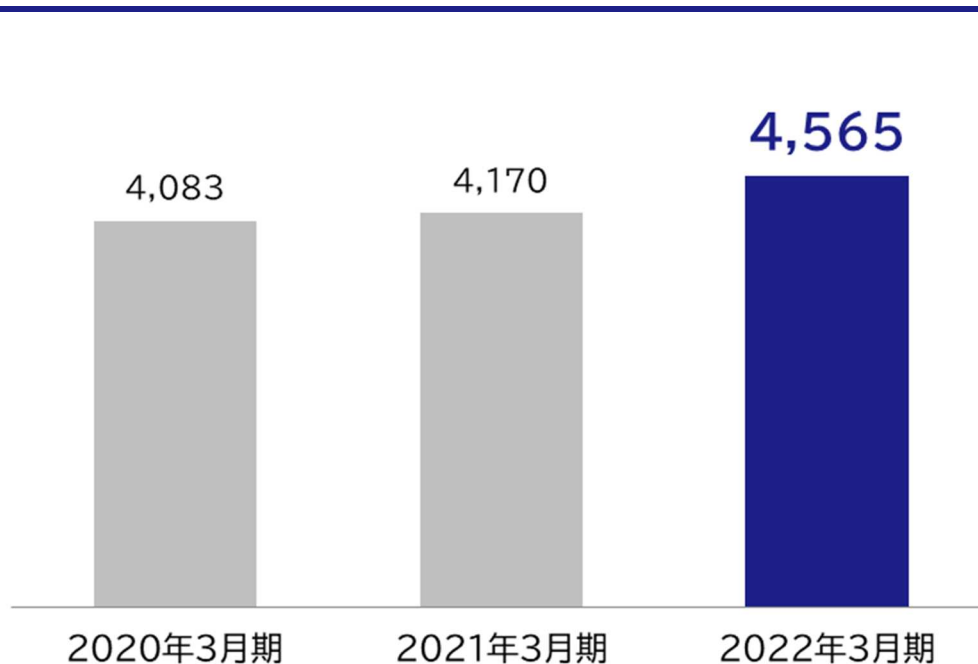




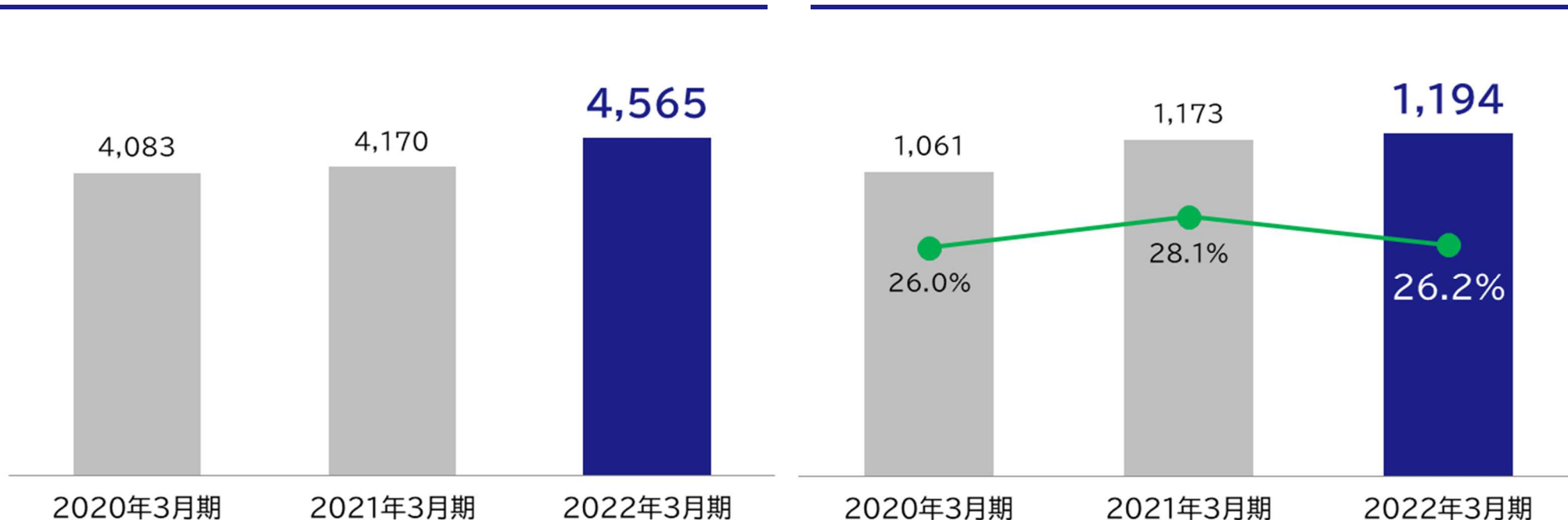
## 防災事業

- 防災・減災、国土強靱化対策の推進に伴う堅調な成長により、**前期比増収・増益**を達成しました。

売上高 (百万円)



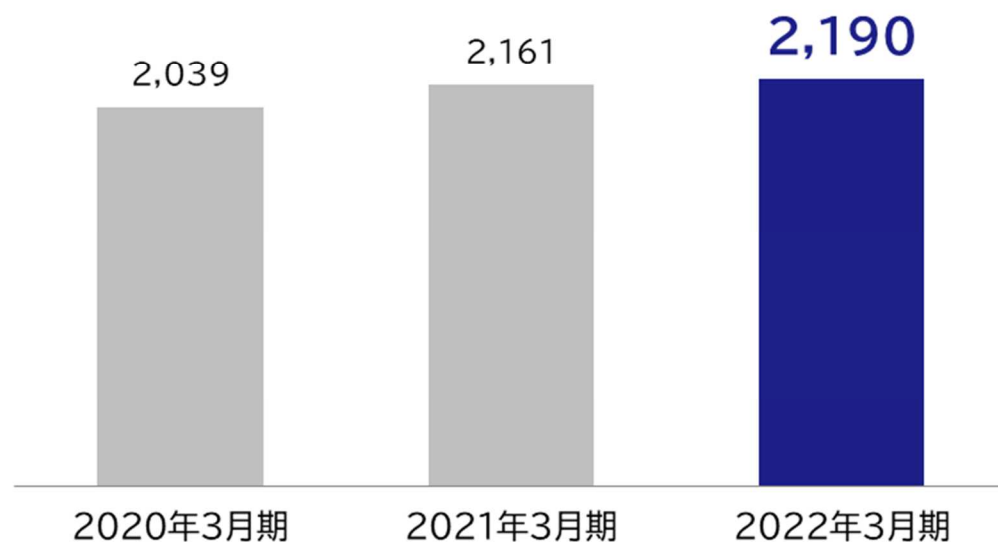
セグメント利益・利益率 (百万円)



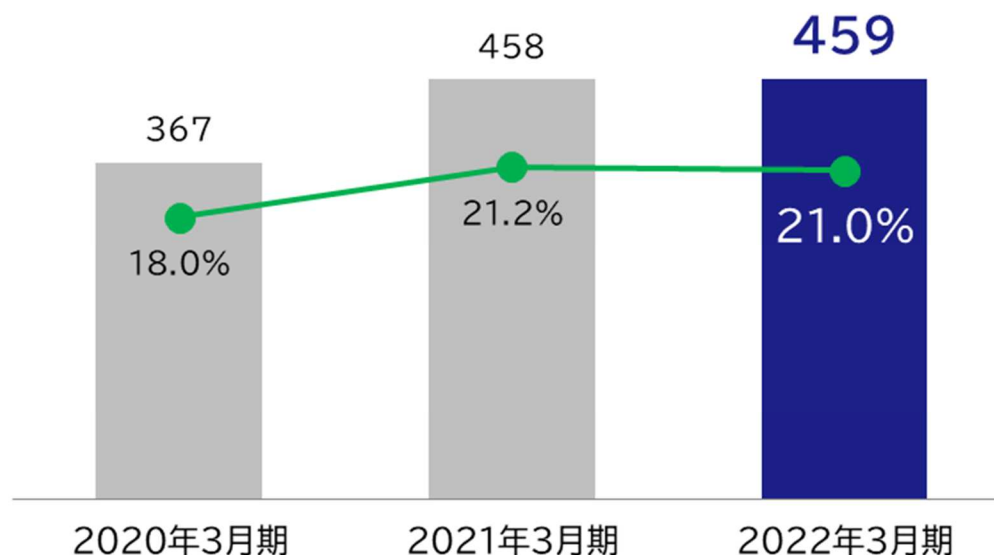
## その他（セラミックス事業、賃貸事業、システム開発事業等）

- 半導体装置用部品の需要増に伴い、セラミックス事業が好調に推移したことや賃貸事業も安定的な収益を計上したことなどにより、**前期比増収・増益**を達成しました。

売上高 (百万円)



セグメント利益・利益率 (百万円)



# 1-5. 2022年3月期 連結貸借対照表

- 引き続き安定した財務基盤を維持しております。

(単位:百万円)		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前期比
現預金		8,574	11,761	12,905	1,144
売上債権		13,326	13,593	12,689	△904
棚卸資産		4,202	4,431	5,020	589
その他流動資産		610	593	529	△64
有形固定資産		11,604	11,881	12,396	515
無形固定資産		152	280	360	80
投資その他の資産		3,578	3,726	3,520	△206
資産合計		42,076	46,265	47,419	1,154
仕入債務		7,062	6,519	6,775	256
有利子負債		4,564	5,328	4,055	△1,273
その他負債		7,405	8,168	7,393	△775
負債合計		19,031	20,016	18,223	△1,793
株主資本		21,753	24,794	27,694	2,900
その他包括利益累計額		1,224	1,379	1,351	△28
新株予約権		36	74	150	76
純資産合計		23,014	26,248	29,196	2,948
純資産比率		54.7%	56.7%	61.6%	—
負債・純資産合計		42,046	46,265	47,419	1,154

ネットキャッシュ(百万円)	4,010	6,433	8,850
D/Eレシオ(倍)	0.20	0.20	0.14

※1 ネットキャッシュ=現預金-有利子負債

※2 D/Eレシオ=有利子負債/純資産

- 製品製造に必要な型枠、機械、金型類を中心に、減価償却費を上回る額の設備投資を行いました(セグメント別の投資実績は下表ご参照)。

	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	前期比
(単位:百万円)			
現金及び現金同等物の期首残高	7,706	10,893	3,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,223	4,992	769
(うち減価償却費)	1,082	821	△261
投資活動によるキャッシュ・フロー	△397	△1,141	△744
財務活動によるキャッシュ・フロー	△638	△2,614	△1,976
現金及び現金同等物の増減額	3,187	1,236	△1,951
現金及び現金同等物の期末残高	10,893	12,130	1,237

#### ■ 主な投資実績 (単位:百万円)

コンクリート事業(型枠、機械装置、プラント等)	1,078
パイル事業(設備補修等)	32
防災事業(製造設備等)	61
その他事業(ホテル建設、金型等)	505
全社共通(本社設備等)	108
合計	1,783

- 安定的な普通配当に加え、適宜、特別配当・記念配当を検討するほか、自社株式の取得により、総還元性向30%を目処として、株主還元を実施する方針としています。
- 2022年3月期は、期中に5.5億円の自社株式取得を実施済みであり、期末配当は、1株当たり、特別配当を含めて80円を予定しています。

		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 予定
自社株式取得総額(単位:百万円)		500	200	550
配当金	年間	60円	90円	80円
	(普通配当)	50円	60円	65円
	(特別・記念配当)	10円	30円	15円
配当性向		22.9%	21.0%	16.6%
総還元性向		44.2%	26.5%	29.9%

※ 配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり純利益

※ 総還元性向 = (配当金総額 + 期中の自己株式取得総額) ÷ 当期純利益

1. 2022年3月期通期 決算概要

## 2 2023年3月期 業績予想

---

3. 中期経営計画 進捗状況

参考資料

## 2-1. 2023年3月期 業績予想

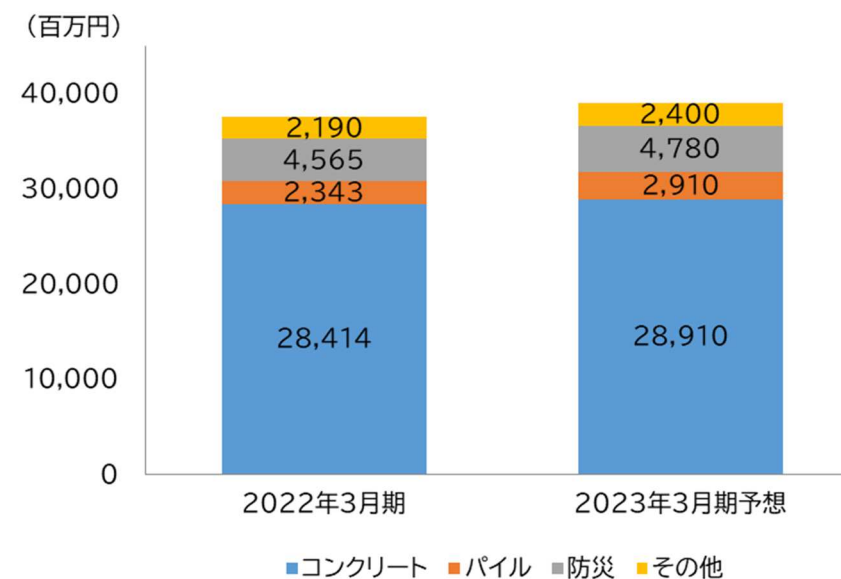
- 資材価格高騰や物流コストの上昇など厳しい事業環境ですが、販売単価への反映、製品ミックスの更なる改善及びコスト削減に取り組むことで、**前期比増収増益**を目標とします。

	2022年3月期	2023年3月期	増減	
	(単位:百万円) 実績	計画	(額)	(率)
売上高	37,514	<b>39,000</b>	1,486	4.0%
営業利益	6,143	<b>6,200</b>	57	0.9%
営業利益率	16.4%	<b>15.9%</b>	—	▲ 0.5pt
経常利益	6,434	<b>6,500</b>	66	1.0%
経常利益率	17.2%	<b>16.7%</b>	—	▲ 0.5pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,242	<b>4,350</b>	108	2.5%
当期純利益率	11.3%	<b>11.2%</b>	—	▲ 0.1pt

## 2-2. 2023年3月期 セグメント別業績予想

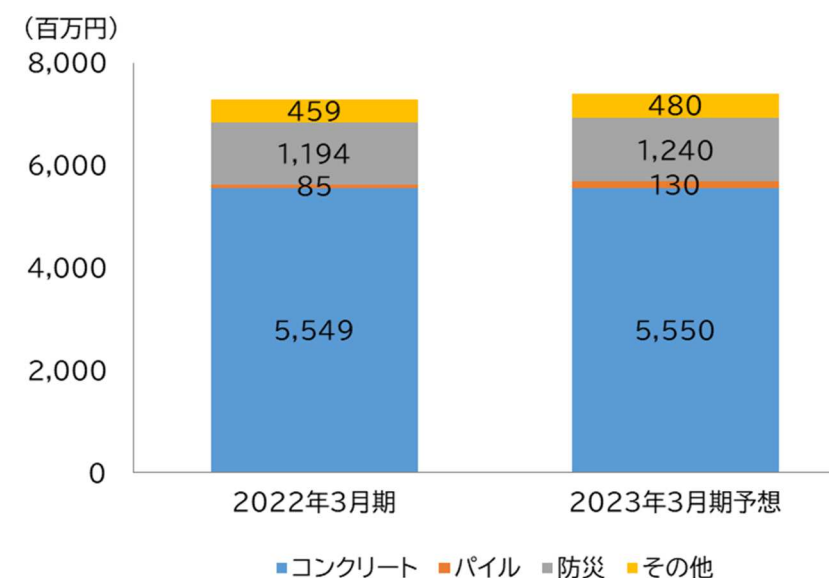
### ■ セグメント別売上高

(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期
	実績	予想
コンクリート	28,414	<b>28,910</b>
パイル	2,343	<b>2,910</b>
防災	4,565	<b>4,780</b>
その他	2,190	<b>2,400</b>



### ■ セグメント別利益

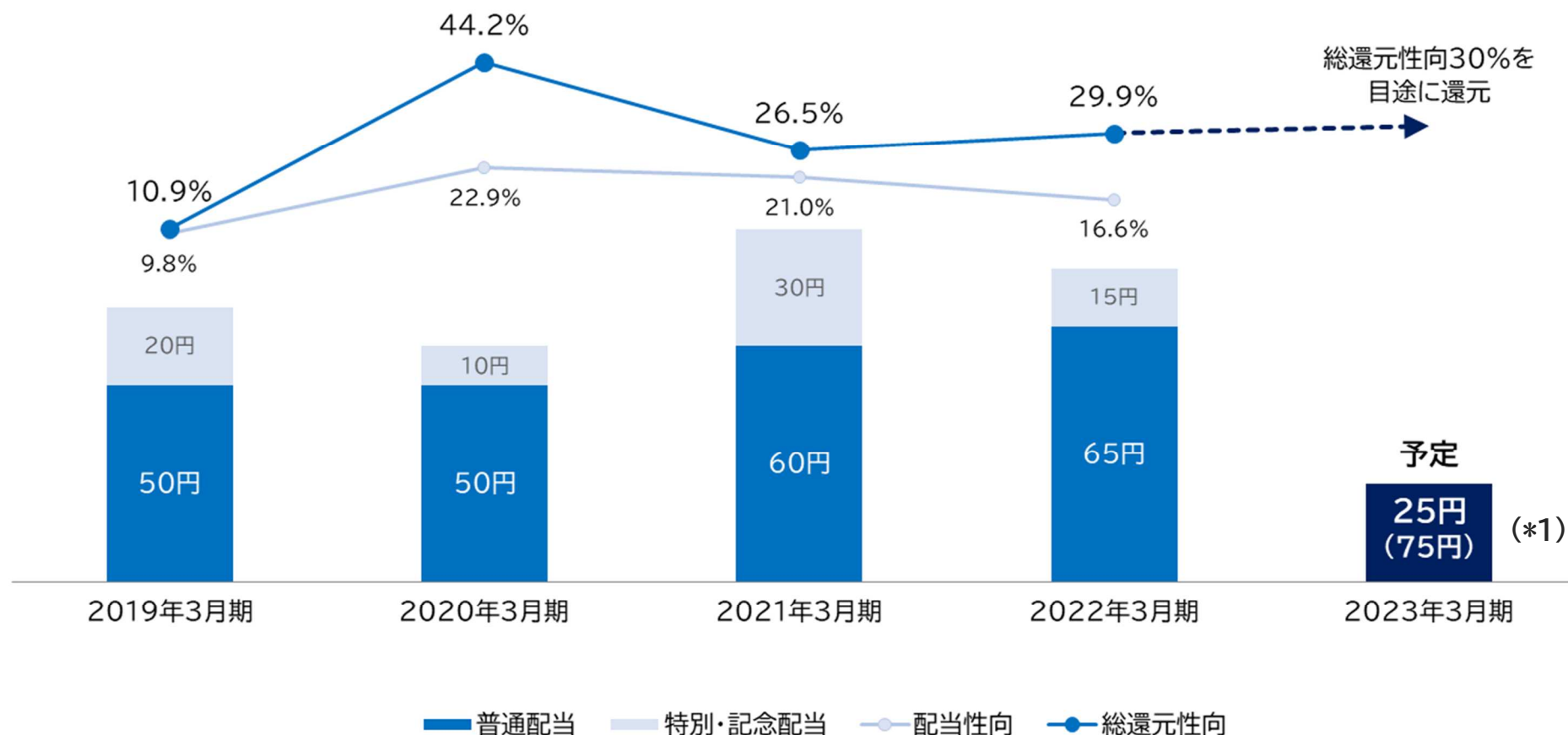
(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期
	実績	予想
コンクリート	5,549	<b>5,550</b>
パイル	85	<b>130</b>
防災	1,194	<b>1,240</b>
その他	459	<b>480</b>
(調整額)	<b>△1,144</b>	<b>△1,200</b>
連結	6,143	<b>6,200</b>





## 2-3. 2023年3月期 株主還元方針

- 安定的な普通配当に加え、適宜、自社株式の取得により、総還元性向30%を目処として株主還元を実施する方針としています。
- 自社株式の取得は、**215,000株**(\*2)を上限とし、今期中に実施予定です。



※1 2022年7月1日を効力発生日とする普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施する予定ですので、2023年3月期の配当金(予定)については、株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、グラフ内( )は、株式分割の影響を考慮しない場合の金額を参考値として記載しています。

※2 自社株式の取得株式数については、株式分割前で記載しております。

1. 2022年3月期通期 決算概要
2. 2023年3月期 業績予想

## 3 中期経営計画 進捗状況

参考資料

## 第2次中期経営計画(2022/3→2024/3)

(基本方針)

### ① 主力事業の深堀りによるオーガニック成長の推進

主力事業のオーガニック成長により営業キャッシュフローの創出力を高めることで、将来キャッシュフローの最大化を目指します。

### ② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

更なる成長に向けて、成長事業の育成と新たな収益機会(新エリア・新カテゴリー展開、新製品、新事業)の獲得に向けた取り組みを強化します。

### ③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

前中計から継続して、グループガバナンスの強化、リスク管理体制の構築など経営基盤整備を進めると同時に、ESGの取組みを進め、持続的な企業価値向上を目指します。

<VertexGroup-BHAG>

「安心・安全」を提供する企業  
ブランド力No.1へ

2028.10.1  
設立10周年

<ブランドメッセージ>  
安心のカタチを造る。

2021.4

2024.3

第2次中期経営計画

2022/3→2024/3

- ・主力事業のオーガニック成長の推進
- ・成長事業の育成と新たな収益機会の獲得
- ・経営基盤整備

持続的成長を確実にするため  
事業、経営基盤の両面の強化に  
取り組む期間と位置付ける

VERTEX  
安心のカタチを造る。

ベルテクス  
コーポレーション  
設立

2018.10.1 2019.4

第1次中期経営計画

2020/3→2022/3

- ・シナジーによる利益率改善
- ・経営基盤整備

## 3-2. 経営指標の推移

- 最終年度(2024年3月期)に、営業利益61億円、ROE10.0%以上の維持を目標としていましたが、計画値を1年目で前倒し達成しました。

(単位:百万円)	2022年3月期 (中計1年目)		2023年3月期 (中計2年目)		2024年3月期 (中計3年目)
	当初計画	実績	当初計画	予想	当初計画
売上高	39,000	37,514	40,000	39,000	41,000
営業利益	5,500	<b>6,143</b>	5,800	<b>6,200</b>	<b>6,100</b>
営業利益率	14.1%	16.4%	14.5%	15.9%	14.9%
経常利益	5,700	6,434	6,000	6,500	6,300
経常利益率	14.6%	17.2%	15.0%	16.7%	15.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	4,242	4,000	4,350	4,200
当期純利益率	9.7%	11.3%	10.0%	11.2%	10.2%
ROE		<b>15.4%</b>			<b>10.0%以上</b>

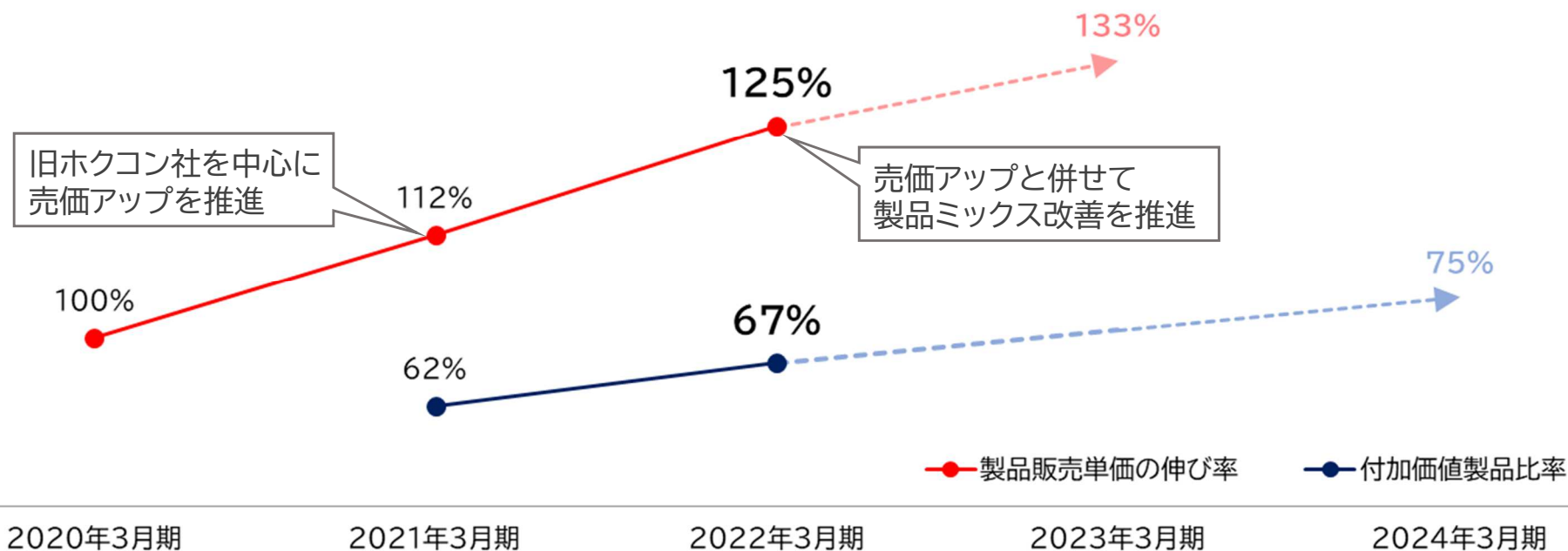
#### ① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

##### ● 製品ミックスの改善と製品販売単価アップの推進

汎用品の取扱い見直しとオリジナル製品の営業強化など製品ミックスの改善を進めることにより、付加価値製品比率が2021年3月期対比 **5pt**向上しました。

また、同時に、全製品の販売価格アップを積極的に進めたことにより、平均販売単価は、2020年3月期対比 **125%** となりました。

資材高騰による原価高など厳しい環境にありますが、引き続き販売単価アップと付加価値製品へのシフトを進めてまいります。

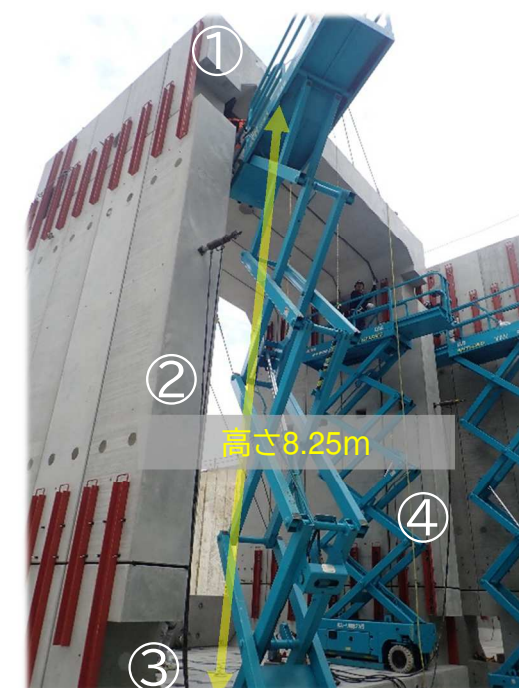
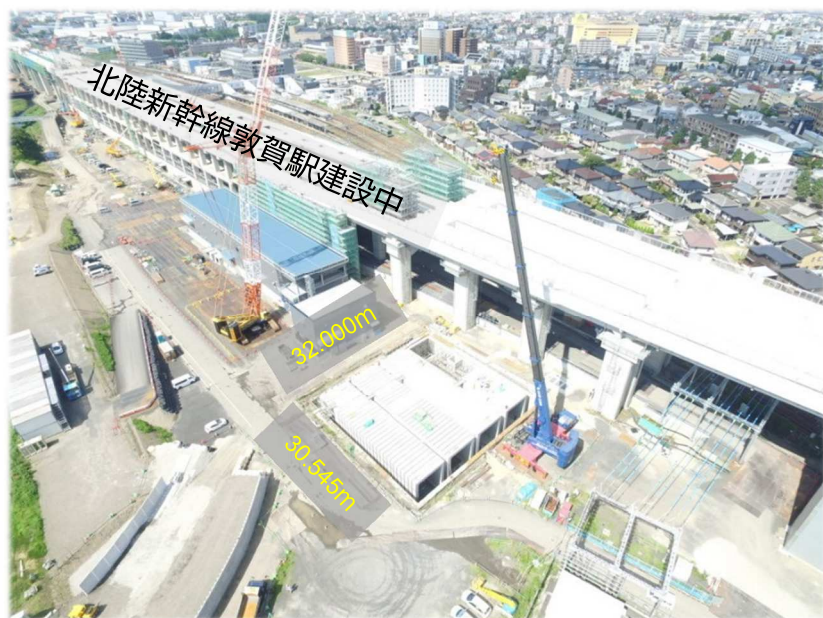


### ① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

#### ● オリジナル製品 事例紹介（現場打ち→プレキャスト化）

##### 【福井】北陸新幹線、敦賀駅高架橋他工事

- ・ 規格：＜調整池＞ （幅）5.75m x （高さ）7.3m, 8.25m（4分割）  
＜消雪用貯水槽＞ （幅）6.75m x （高さ）8.35m（4分割）
- ・ 大型貯水槽が4槽（4列） （長さ）30.545m x （幅）32.000m
- ・ 概要：約4ヶ月の工期短縮を実現（現場築造では8ヶ月）



## ① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

### ● オリジナル製品 事例紹介

【東京】勝どき駅に直結する歩行者専用の地下通路を設置

- ・ 規格：(外寸) 幅7.4m x 高さ4.6m(2分割) x 長さ1.390m 123.32mの地下道
- ・ 工事中は周辺住民への影響を考慮し非開削で地下道を構築、築造後には利便性が向上
- ・ 推進工法の採用では国内最大のボックスカルバート



### ① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

#### ● オリジナル製品 事例紹介（落石対策）

【岡山】岡山自動車道4車線化工事(NEXCO西日本)

- ・ 製品名：落石防護柵 「ライトバリア」
- ・ 延長：96m
- ・ 概要：高速道路のトンネル坑口で落石対策





### ① 主力事業の深掘りによるオーガニック成長の推進

#### ● 事例紹介（浸水対策）

【神奈川】横浜市中山小学校 地下式雨水貯留施設内にて『壁画』

- ・ 校庭下に築造された地下式雨水貯留槽
- ・ 工事期間は校庭が半分しか使えない児童のために、楽しめるイベントを横浜市と建設業者と共に開催
- ・ 雨水貯留施設内の壁面に児童たちが描いた思い思いの絵と共に、周辺地域の浸水被害の解消に貢献



### ② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

#### ● 事例紹介（浸水対策）

【神奈川】平塚市日向岡1号遊水池

- ・ 製品名：流量制御装置「ボルテックスバルブ」  
\* 渦流により雨水排出量を効果的にコントロール
- ・ 当社のボルテックスバルブにより、既設調整池の機能向上を図り、周辺地域と放流先の河川で頻発していた浸水被害の解消に貢献

ボルテックスバルブの外景



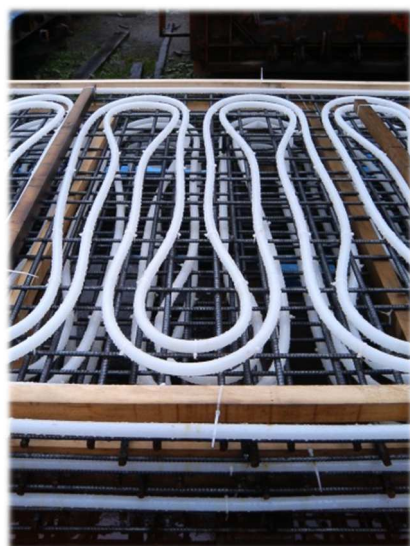
## ② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

### ● 事例紹介（融雪対策）

#### 【石川】金沢駅前歩道整備工事（JR西日本旅客鉄道）

- ・ 製品名：無散水融雪平板  
\* 骨材に珪石を使用することにより、熱伝導の高効率化を実現
- ・ 概要：降雪時の安全で快適な歩行空間の確保を目的に整備

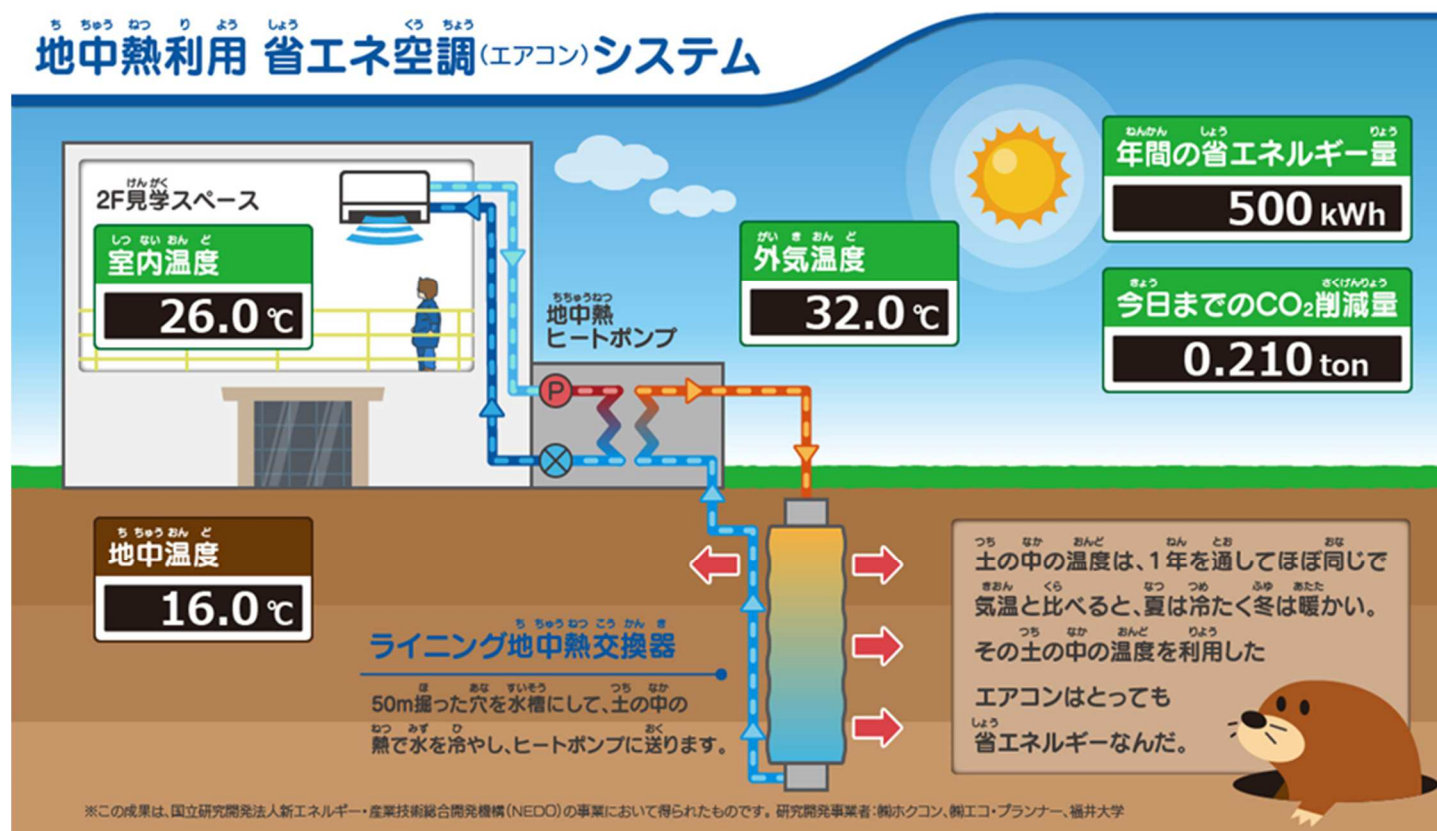
融雪平板 内部



## ② 成長事業の育成と新たな収益機会の獲得

### ● 地中熱を利用した新たな冷暖房システムの商品化

当社が開発した、「ライニング地中熱交換器」は、“蓄熱量を確保しつつ、施工時の掘削コストを半減”することができ、さらに同じく当社が開発した、熱の利用効率を向上させる「熱収支制御ユニット」と組み合わせることで、空冷式と比べて電気代約50%削減、施工コストは従来工法から約30%削減、省エネ・低コストのシステム化を実現しました。



#### ③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

- 下記施策を中心に、経営基盤の整備・強化に取り組んでいます。

発表時の施策内容

現在の進捗状況

##### 施策1

- ◆ 人材開発プログラム・採用プログラムの再整備

- ・ベルテクスアカデミーの設立(2022.7開催予定)
- ・人材開発グループの設置 <ベルテクス>
- ・**教育プログラムの再整備(2022.4~)**

##### 施策2

- ◆ 情報システム・ICTインフラの整備、DXの推進

- ・新基幹システム準備中(2022.8~) <ベルテクス>
- ・人事・就業システム稼働(2022.2~) <ベルテクス>
- ・新基幹システム稼働(2021.4~) <ベルテクス建設>

##### 施策3

- ◆ グループガバナンス体制・リスク管理体制の構築

- ・コンプライアンス研修(グループ全社員対象)  
(2021年度実施済、2022年度準備中)
- ・内部監査の強化  
(1名増員、約150拠点/3年 計画通り実施中)

##### 施策4

- ◆ 事業ポートフォリオマネジメント機能の整備・強化

- ・小規模事業の戦略・施策について精査実施
- ・事業ポートフォリオマネジメント機能は整備を継続

##### 施策5

- ◆ サステナビリティ推進体制の整備

- ・サステナビリティ協議会の設置(2021.10~実施中)

## ③ 持続的成長を可能とするための経営基盤整備

### ● 教育プログラムの再整備

更なる人材の強化と次世代の人材育成を目指してプログラムを整備・拡充しました。

	新入社員	若手社員	中堅社員	管理職	上位管理職
階層別	新入社員研修	若手社員研修	中堅社員研修	管理職研修	上位管理者研修
目的別	アカデミック研修 <自主参加型>				
全社員	全社員研修（ビジネススキル／コンプライアンス／ハラスメント など）				
部門別	部門別研修（営業・生産・技術・管理部門など）				

#### ○階層別研修

対象：新入社員、若手社員、中堅社員、  
新任管理職、新任上位管理者  
目的：階層別の役割要件と求められる  
能力・資質の開発、意識の醸成

#### ○アカデミック研修

対象：グループ全社からの公募方式  
目的：ゼネラリストに求められる能力  
の開発、意識の醸成

#### ○全社員研修

対象：グループ全社従業員（約1,100人）  
目的：コンプライアンス、ハラスメント  
などの知識・意識の定着

#### ○部門別研修

対象：部門毎に対象者を選定  
目的：専門的な知識習得と能力の開発



新入社員研修  
2022.4.4～4.15

### ● 設備投資

生産能力、品質向上、生産性向上を目的に、ベルテクス株式会社千葉工場に最先端技術を装備したバッチャプラントを整備しました。

CO2排出量を70%削減する 長寿命コンクリート「LLクリート」の製造も可能となり、今後、ESGへの取り組みも積極的に進めてまいります。



## ● スタートアップ投資

現中期経営計画に掲げる財務・投資戦略に則り、2021年11月に、1件の新規投資を行いました。対象会社は、IoTを活用した、あんしん見守りサービスを開発・運営するスタートアップです。

当社は、安心・安全な街づくりに取り組む同社事業の成長を支援するとともに、当社事業との中長期的なシナジー創出や新規事業創造を検討してまいります。

### —— otta タウンセキュリティサービス ——

対象会社情報	
・会社名	株式会社otta
・設立	2014年10月24日
・代表者	山本 文和
・本社	〒812-0027 福岡県福岡市博多区下川端町1-1 明治通りビジネスセンター本館6F
・事業内容	スマート見守りプラットフォームの 開発と運営





1. 2022年3月期通期 決算概要
2. 2023年3月期 業績予想
3. 中期経営計画 進捗状況

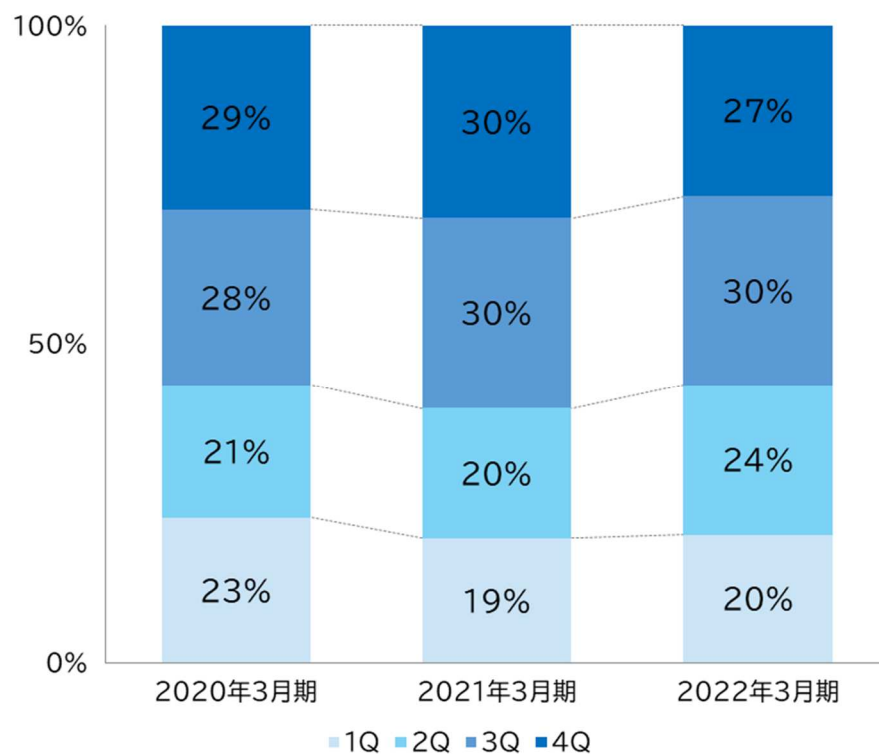


## 参考資料

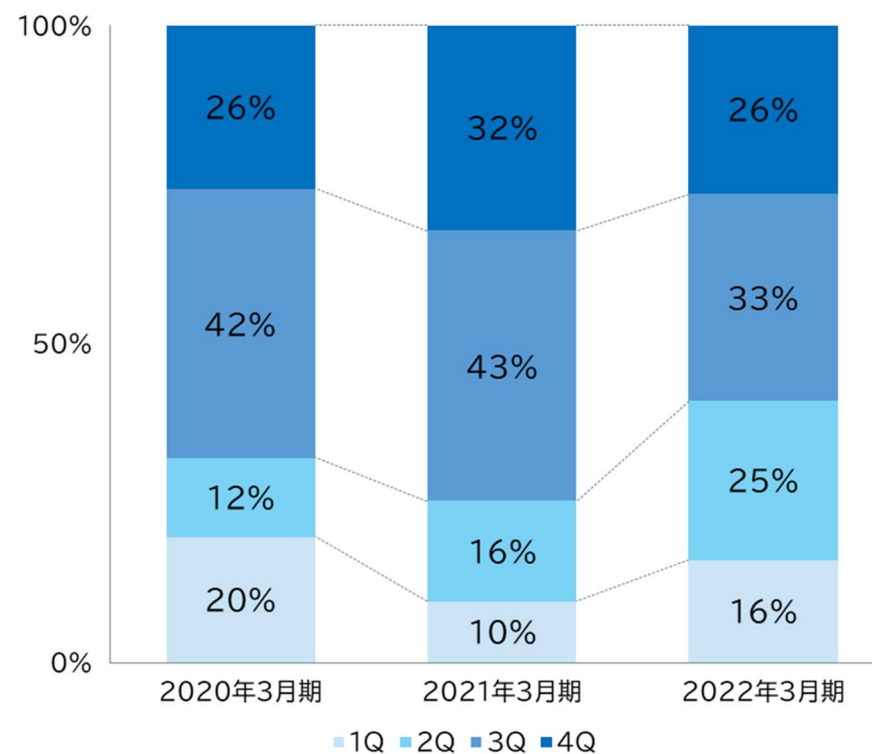
---

(単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,850	8,108	10,786	11,271	7,340	7,706	11,320	11,396	7,483	8,836	11,155	10,040
売上総利益	2,212	2,023	3,068	2,844	1,928	2,282	3,610	3,428	2,463	3,009	3,426	3,009
売上総利益率	25.0%	24.9%	28.4%	25.2%	26.3%	29.6%	31.9%	30.1%	32.9%	34.1%	30.7%	30.0%
販管費	1,469	1,553	1,461	1,874	1,421	1,451	1,361	1,725	1,479	1,480	1,420	1,386
営業利益	743	469	1,606	970	507	832	2,249	1,704	984	1,530	2,006	1,623
営業利益率	8.4%	5.8%	14.9%	8.6%	6.9%	10.8%	19.9%	14.9%	13.2%	17.3%	18.0%	16.2%

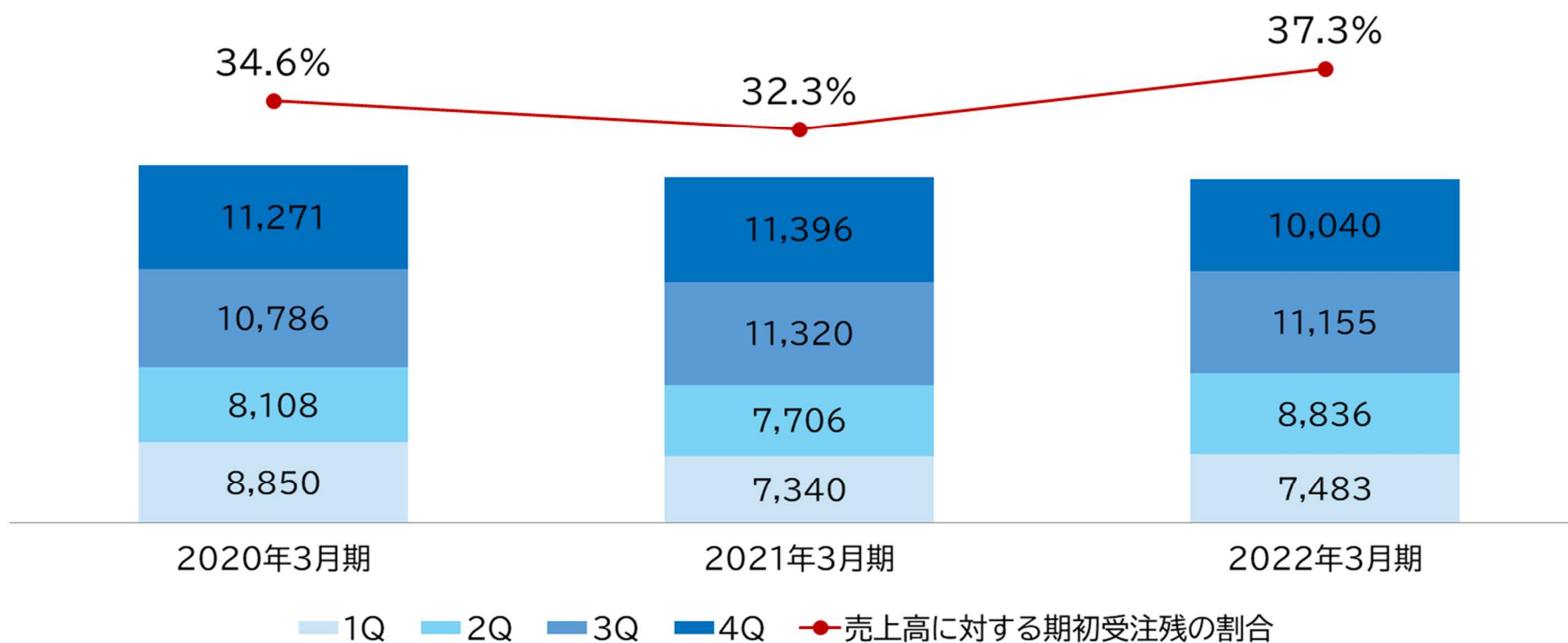
### 売上高



### 営業利益



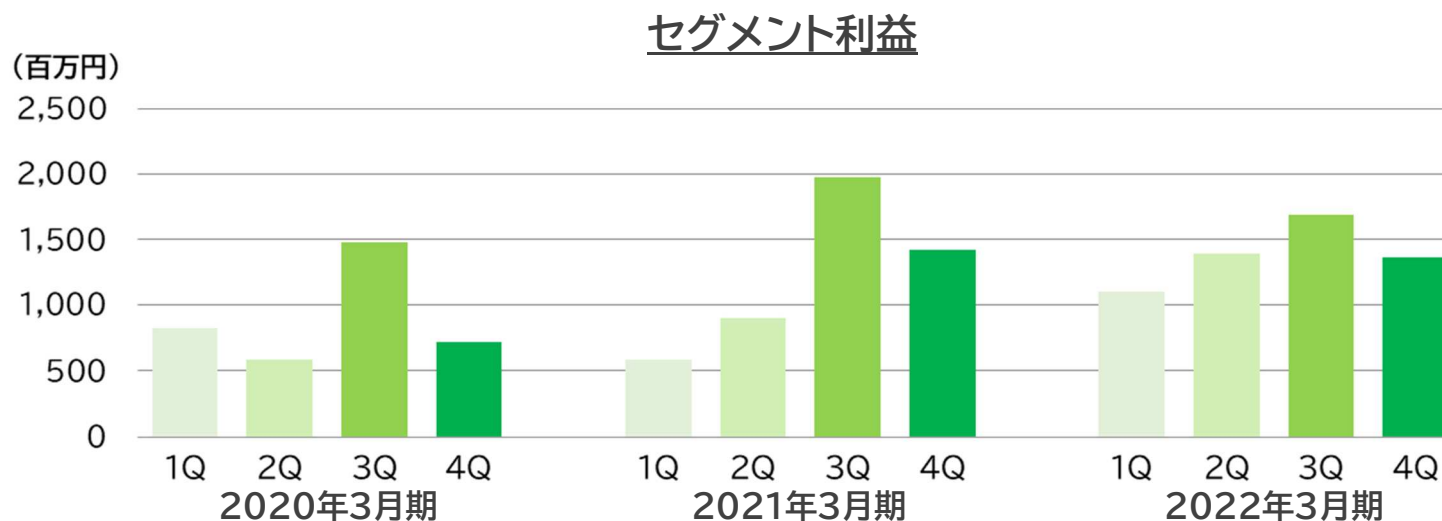
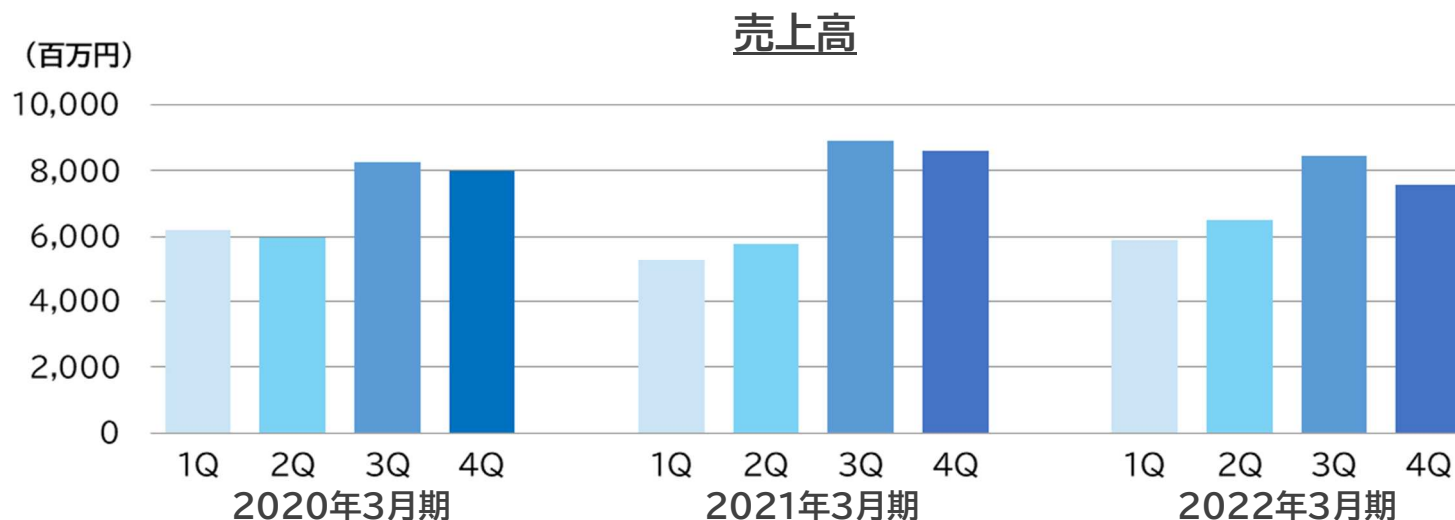
2020年3月期					2021年3月期					2022年3月期				
期初受注残	売上高				期初受注残	売上高				期初受注残	売上高			
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q
13,514	8,850	8,108	10,786	11,271	12,187	7,340	7,706	11,320	11,396	13,983	7,483	8,836	11,155	10,040
34.6%	39,014				32.3%	37,763				37.3%	37,514			



# 四半期別、セグメント別業績 ①コンクリート

## ■ コンクリート

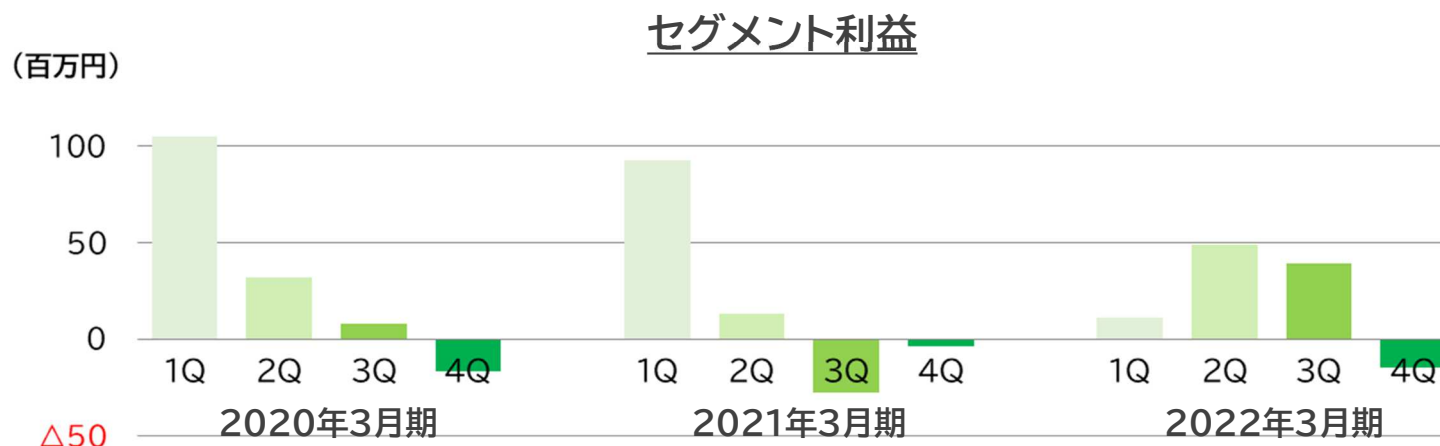
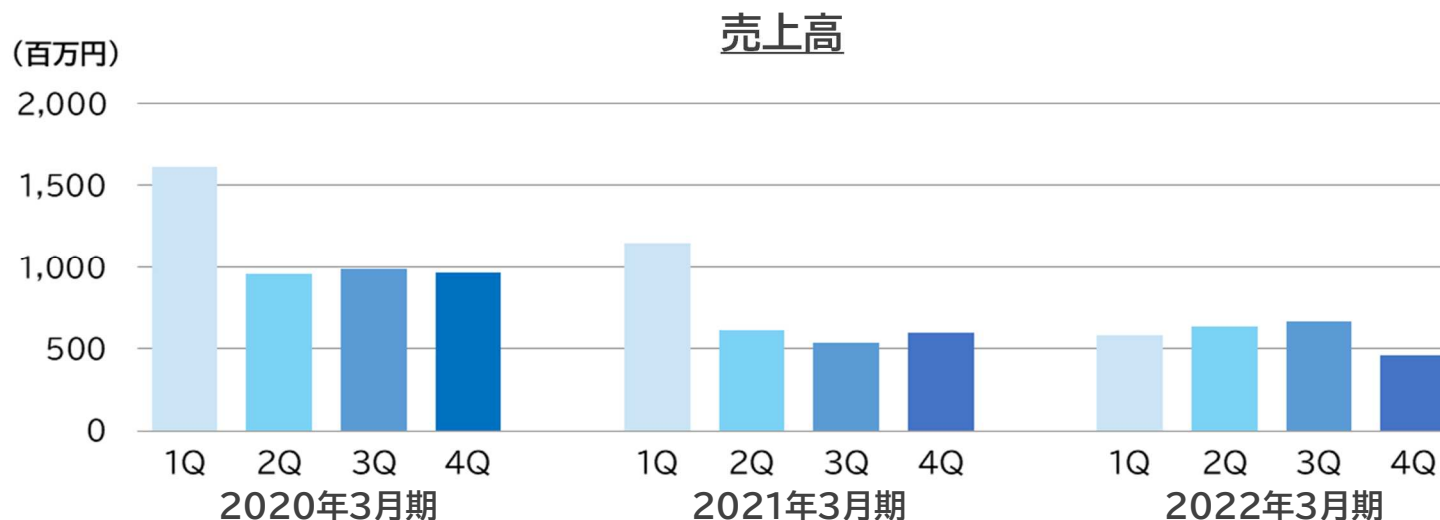
(単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	6,209	5,969	8,238	7,998	5,282	5,790	8,899	8,586	5,883	6,490	8,454	7,587
セグメント利益	825	582	1,479	717	585	901	1,979	1,420	1,097	1,394	1,689	1,369



# 四半期別、セグメント別業績 ②パイル

## ■ パイル

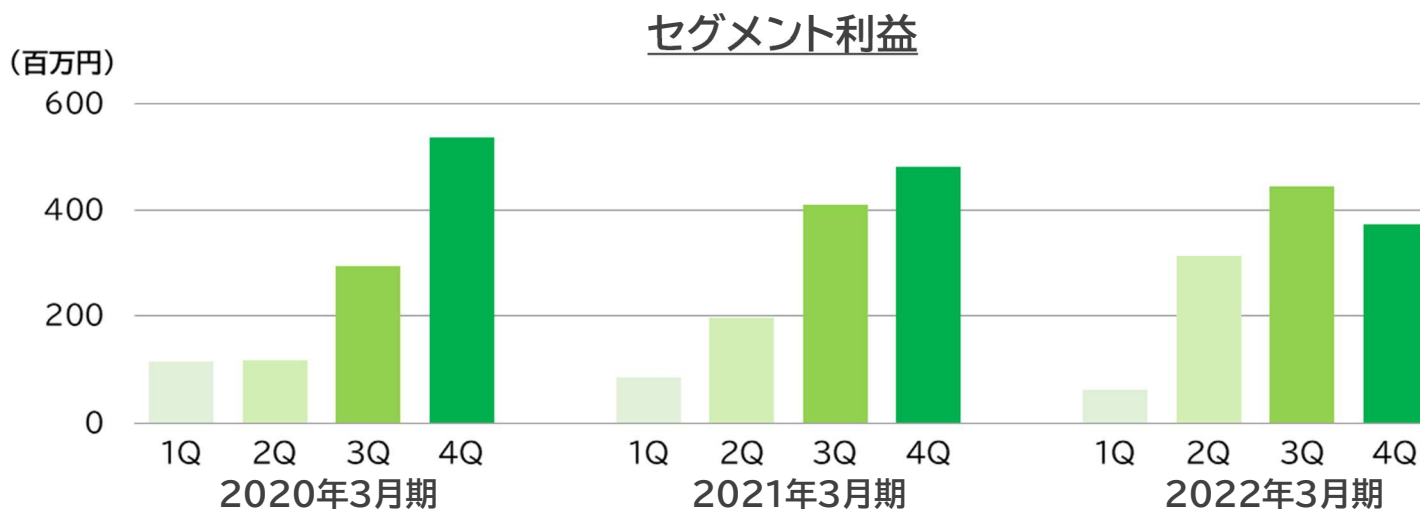
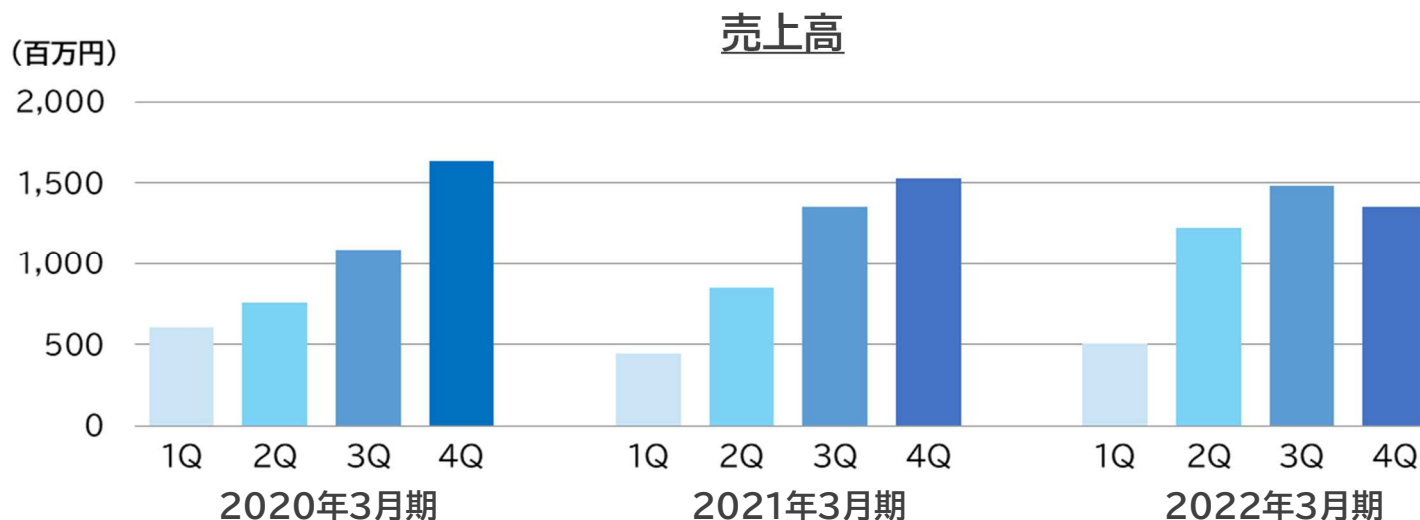
(単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,612	954	987	967	1,149	609	538	597	582	637	664	460
セグメント利益	105	32	8	△17	93	13	△28	△4	11	49	40	△15



## ■ 防災

(単位:百万円)

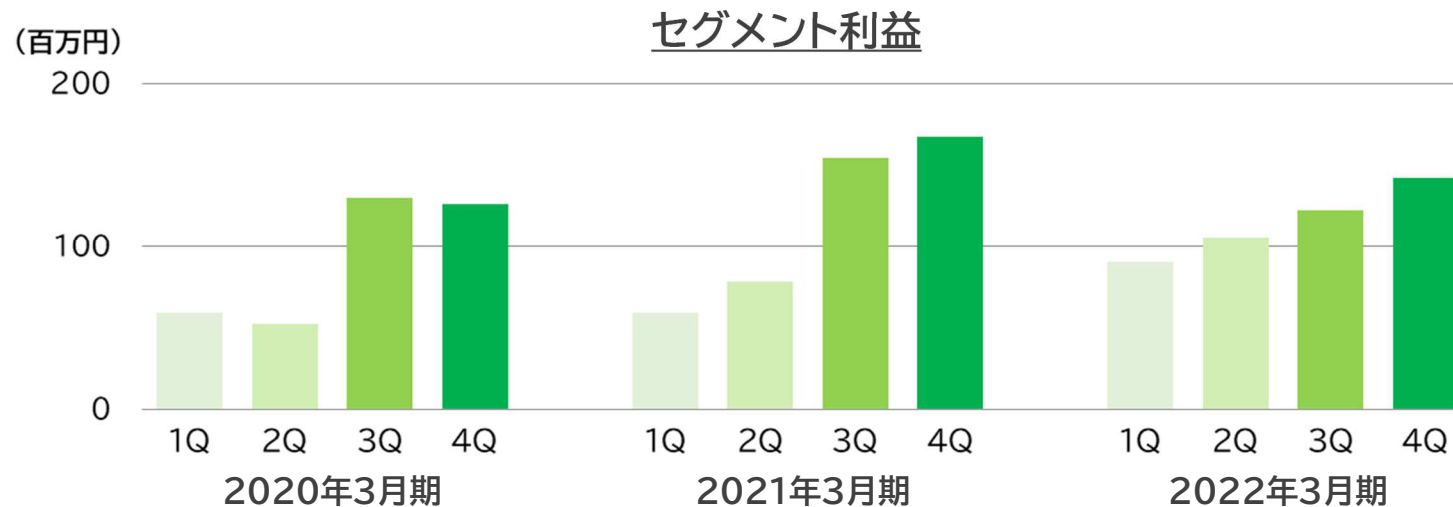
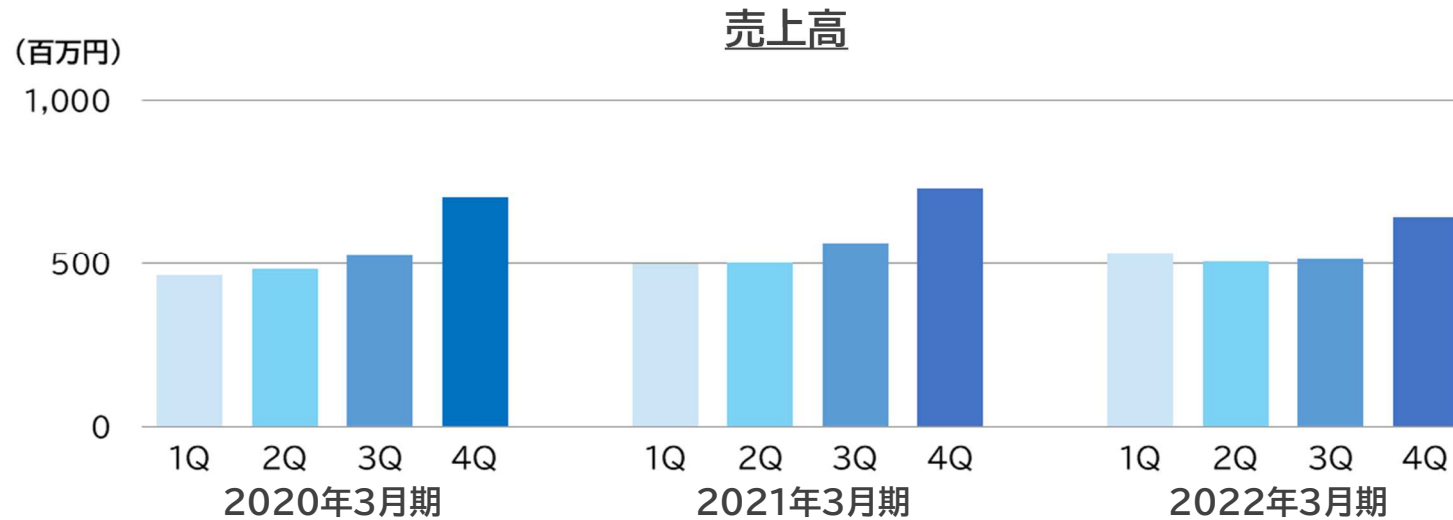
	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	605	754	1,086	1,638	442	847	1,354	1,527	506	1,224	1,483	1,352
セグメント利益	114	118	294	535	85	197	411	481	61	315	445	373



# 四半期別、セグメント別業績 ④その他

## ■ その他

(単位:百万円)	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	462	480	523	703	498	502	561	729	533	505	511	641
セグメント利益	59	52	130	126	59	78	154	167	90	105	122	142



<お問い合わせ先>

株式会社ベルテクスコーポレーション

経営企画本部 経営企画G

Tel : 03-3556-2801

本資料中の業績予想、事業計画等に関する記述は、本決算発表日時点における合理的な将来予測に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因で変更される場合がございます